

祝入学

4月7日 晴海客船ターミナルに停泊中の大型客船「ふじ丸」パシフィックホールにて第34回入学式が挙行されました。今年度は入学式後の新入生研修を船で行うことと連動し、船上での入学式となりました。今年度の新入生は自動車整備科133名、一級自動車整備研究科37名、自動車開発エンジニア科53名、国際自動車整備科9名の計232名です。ここで小栗校長による式辞を紹介いたします。



ふじ丸船内「パシフィックホール」での入学式の様子

皆さんが夢を持ち目標に進んでいけるよう全力でサポート致します。まず、この研修では一人でも多くの友人を作り、先生方とも交流を深めて下さい。この航海がまさに新たな人生の船出にふさわしい、充実した時間であってほしいと願います。

さて、本校はすでに存じのように、本田技研工業の創業者である本田宗一郎が設立した学校です。設立の目的は、皆さんにすでにお渡ししている「建学の原点」に記されていますが、「人に愛され、信頼される技術者の育成を通じ社会に貢献すること」にあります。

本校はこの考え方を教育として実践するために、三つの育成方針を掲げています。一つは「社会にあつて人に愛される、マナーやマインドを磨く」というものです。ここに集う皆さんのほとんどは、高校を卒業して間もない方々です。言い換えれば十分に大人としての経験を積んでいないわけです。社会は、親しい友人や家族だけの世界ではなく、ただそこにいるだけでは取り残されてしまいます。年齢も経験も異なる人々と接するのが社会であり、そこに生きる

自分のあり、その上に優れた技術を築きあげていくことこそ技術者の道なのだ、ということになります。本田さんはこの学校の創立にあたり、「クルマやバイクの故障を直すだけではなく、お客様の心も治してほしい」と述べています。だからこそ「人に愛され、信頼される技術者」であることが最も重要な事になるのです。

一つは「時代の変化を敏感に捉え、実践第一の技術力を学びとる」ということです。世の中の動くスピードは年ごとに加速しています。今までなかったものが急に現れたと思うと、それが非常に短い間に当り前になっている。携帯電話や、インターネットなどはその典型でしょう。車の世界も日々技術革新が進んでいます。ハイブリッド車や燃料電池車は少し前には世の中になかった新しい技術です。本校ではこういった技術の進化をタイムリーにかつ実践的に学ぶことができます。それも世界のお客様に製品を提供しているホンダやそのグループの強力なバックアップがあるからです。どうか、このメリットを十分に生かしながら学びに役立てて下さい。

最後は「企業市民の誇らしい一員として、社会活動への理解と行動力を育む」というものです。皆さんはこれから本校での生活が始まりますが、皆さんを迎えるのは私たち教職員や先輩たちでなく、学校周辺の方々や地域社会も同様です。時に温かく、



船ならではの見送り風景

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご臨席の保護者の皆様にも心からお祝い申し上げます。入学式のと、みなさんはこの船で海上を約650KM南下する研修の旅に出かけます。目標は小笠原諸島の北に位置する鳩巣岩（そうふういわ）です。この船は海図（チャート）と羅針盤（コンパス）を駆使してその目標を目指します。皆さんも新たな出発の時に、夢や目標に向けて、自らのコンパスを持ち進んでいく欲しいと思います。ホンダ学園は、

あります。本田さんはなぜ、「優秀な技術者の育成」とか「高い知識を持った技術者の育成」と言わなかったのでしょうか。本田さんは技術について「技術は人間に奉仕するひとつの手段」だと考えていました。従って、技術はあくまで人間のためにあり、全ての技術を志す者は人間を尊重する魂を心に宿しておかねばならない、という強い信念を抱いていたのです。ですから、例えばみなさんを支えてくれる方々、例えばご家族、友人、先生、お客様との心の繋がりが持て



最後の「企業市民の誇らしい一員として、社会活動への理解と行動力を育む」というものです。皆さんはこれから本校での生活が始まりますが、皆さんを迎えるのは私たち教職員や先輩たちでなく、学校周辺の方々や地域社会も同様です。時に温かく、

いろいろな申し上げましたが、この学校は皆さんの夢の実現をサポートする場です。さまざまな新しい人や事柄との出会い、幅広い経験や見聞の機会は十二分に用意されています。皆さんが自分の夢の実現に向けて、大いにこの学校を活用し、充実した学生生活を送って頂きたいと思っております。

最後に改めて、夢に向かう皆さんの新たな船出をお祝いしたいと思います。おめでとうございます。

国家試験結果

平成21年3月22日（日）に実施された「平成20年度第2回自動車整備技能登録学科（筆記）試験」において2級ガソリンとジーゼルともに全員が合格し、100%合格を果たしました。一級については残念ながら100%合格とはならず、合格15名、不合格1名でした。一級の筆記合格者は5月に行われる一級小型自動車整備士の口述試験に向けて、全員合格を目指してがんばっていきます。



鳩巣岩（そうふういわ）をバックにランチ

この研修は新しい学校での友達づくりと積極的な行動力を養うこと、そしていろいろなカリキュラムの中で頭と体を使い新しい自分の発見をしてもらうために実施しています。今年度は初めて入学式も船で行い、多くの保護者や来賓の方々を見送りを受けて文字通り新たな船出をした訳です。船は伊豆七島を南下し、東京より南に約650KMの鳩巣岩を回って、無寄港で横

新入生校外研修

4月7日の入学式直後に東京・晴海を出発し、2泊3日の行程で客船「ふじ丸」にて海上での研修を行いました。

浜港まで予定どおり行われました。船の中では研修カリキュラムだけでなく食事や自由時間でもクラスメイトや先生と共有する中で新たな絆づくりができたと思います。客船を使うことでゆったりとした気分と豪華な食事で、楽しめたと思います。

もちろん、研修カリキュラムの中にはゲームやクイズの楽しさだけでなく心理テストでの他人理解やレポートを書く

賛助会総会

ホンダ学園賛助会総会が、去る4月27日東京・池袋のホテルメトロポリタンにて50名の参加者を集め開催されました。この賛助会はホンダの関連関係会社を中心に構成され、就職や奨学金、クラブ活動など多方面からサポートをいただいております。総会では、昨年度の事業報告と新年度の活動計画の説明とともに、学園からの教育活動報告が行われました。続いて本田技研工業執行役員の小林理事による「ホンダの国内営業の方向性」の講演が行われました。その後の懇親会では、全国から集まった会員の皆様から親睦を深める様子が見受けられ、賛助会の果たす役割の必要性を実感する総会となりました。

着任しました

4月1日付で埼玉製作所から事務総務課へ異動してまいりました。今はまだ学校という環境の違いに戸惑いもありますが、新たな気持ちで学生の皆さんと一緒に学びながら、パワーをもらえたらと思います。明るくポジティブに頑張りますのでよろしくお祈りいたします。

小村 知代

4月1日付で事務総務課に、埼玉製作所・完成車組み立て1モジュールより異動してまいりました小玉です。入社以来組み立ての現場しか経験がありませんので、皆さんにはご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導よろしくお祈りいたします。

小玉 和哉

ホンダカーズ埼玉から4月1日付で自動車整備科の2年2組の担任になりました森田です。ホンダのディーラーに入社して23年になります。サービスマンを7年、フロントを10年、工場長を3年、営業職を3年間経験させてもらいました。これから学生のみならずといっしょに勉強をしていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

森田 弘幸

一年生

担任紹介

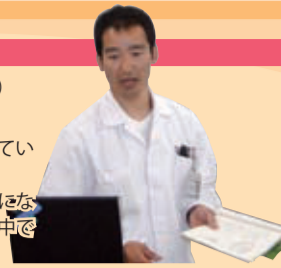
新入生の研修で担任の先生を少し知ることができたと思いますが、自分のクラス以外の先生はあまりなじみがないと思います。

『ちょっと怖そうとか、どんな人か知りたいなあ』という人もいるでしょう。ここで一年生の担任の先生を紹介いたします。

特に専門分野や得意分野を知っておくと、業界の裏話や人の知らない技術を教えてくれるかも？

研究科 1組 担任

石倉 祐司 (イシクラ ユウジ)
趣味: バイク、サーフィン、スキー
得意(専門)分野: 販売店業務に精通しています。
一年生へメッセージ: 何かに一生命をかけることで、新しい発見があります。夢中になんかに取り組んでみましょう!



研究科 2組 担任

市川 誠 (イチカワ マコト)
趣味: 家庭菜園
得意(専門)分野: 1年エンジン電装
一年生へメッセージ: 自動車は今やハイテクの固まりだが基礎をしっかりとマスターしておくとは後には応用、しっかり基礎をマスターしよう。



自整科 1組 担任

江田 丈夫 (エダ タケオ)
趣味: 旅行
得意(専門)分野: シャン(車体全般)
一年生へメッセージ: 人の作業を見ている技術は覚えられません。自分で手を出して体得して下さい



自整科 2組 担任

水野 博 (ミズノ ヒロシ)
趣味: ドライブ
得意(専門)分野: 専門分野は特にありませんが、一般的な修理、車検の検査、フロント業務、工場長としてのマネジメント等を経験しました。
一年生へメッセージ: 1年生の学生にはすべてが新しいことばかりだと思いますので自分で調べるのも大事ですが、どうしてもわからないことは遠慮せず聞くようにしてください。



自整科 3組 担任

菅野 勉 (カンノ ツトム)
趣味: 野球&ゴルフ 野球部顧問として今年こそ全国専門学校大会出場を果たしたい。ゴルフはシニア部門オーガスタ&セントアンドリュースが夢。
得意(専門)分野: シャン(車体全般)
一年生へメッセージ: 初めて自動車のことを学ぶ人でも最初は基礎からなので安心して下さい。当然、疑問点や不明点もたくさん出てくるでしょう。それらを大切に一緒に育てていきましょう。



自整科 4組 担任

松下 豊 (マツシタ ユタカ)
趣味: ゴルフ・テニス・スキー・読書
得意(専門)分野: 自動車内燃機関
一年生へメッセージ: 技術は一代限りで終わってしまうものではなく、後世へ連続と引き継がれていかなければなりません。私の知っている知識・技術は何でも教えますので気軽に尋ねて下さい。



自整科 5組 担任

斉藤 勝 (サイトウ マサル)
趣味: ドライブ
得意(専門)分野: シャン(車体全般)
一年生へメッセージ: 短い期間ですが、難しいこともわかり易く楽しい授業をしますので頑張っていきましょう。



自整科 6組 担任

小井戸 洋人 (コイド ヒロト)
趣味: 食べ歩き
得意(専門)分野: 2輪の整備技術、2輪販売店の経営全般
一年生へメッセージ: 貴重な貴重な2〜4年間の時間、好奇心をフル・活用・ツールにして、知識と技術と裏技で丸々と太って卒業しましょう!



自整科 7組 担任

渡邊 隆幸 (ワタナベ タカユキ)
趣味: EDIXでドライブ・子供と遊ぶこと
得意(専門)分野: 仕事経験→狭山工場溶接課、白子サービスセンター板金、販社サービス、販社営業、栃木QC T市場品質情報、アクセス品質管理部実務として面白かったのは板金、販社でのユーザー対応です
一年生へメッセージ: 失敗は成功の元です、色々な事に興味を持って行動してみよう。



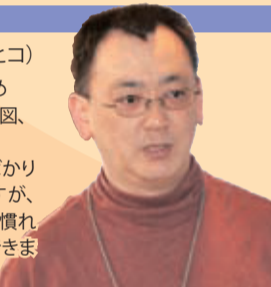
国際科 1組 担任

藤井 宏 (フジイ ヒロシ)
趣味: ランチグルメ (B級グルメ)
得意(専門)分野: 国際交流 (?), グローバル感覚に優れていると自負しています
一年生へメッセージ: 資格や試験の点数だけにとらわれずに自分の夢をかなえられる企業へ就職できるように最善の努力をしよう!



開発科 1組 担任

大柿 政彦 (オオガキ マサヒコ)
趣味: ドライブ、UFOキャッチャー集め
得意(専門)分野: CVT設計 機械製図、機械設計、金型、音響など
一年生へメッセージ: まだ入学したばかりでわからないことが多いと思いますが、早く友達をつくらして学園生活に慣れましょう。やる気があれば、何でもできますよ。



開発科 2組 担任

宮崎 正浩 (ミヤザキ マサヒロ)
趣味: ナイショ (教えられません)
得意(専門)分野: コンピュータ、プログラミングその他政治経済も授業でやっております。
一年生へメッセージ: 知って得ることはあまりありませんが、知らなくて損することは世の中たくさんあります。どんなことでも興味を持って取り組みましょう。



開発科 3組 担任

三好 正晴 (ミヨシ マサハル)
趣味: 車・バイクに乗ること野球・ソフトボール・スキー
得意(専門)分野: 機械加工・自動車整備士
一年生へメッセージ: 楽しいことを一生命懸命やりましょう。そこでの経験が必ず将来の自分に役立ちます。学園生活をエンジョイしましょう。



初めて2輪に乗る人はかなり緊張さ

安全運転講習会

4月の第3〜4週にかけて1年生は3Grに分かれて安全運転講習会が実施されました。場所は埼玉県桶川市の交通教育センターレインボー埼玉で、全員が二輪車に乗りました。免許の未取得者は原付を利用し、2輪免許保持者は免許と運転レベル(経験等)に応じてグループ分けを行い、作業点検・乗車姿勢などを中心に安全運転の基本を実際の走行を通じて学んでいきます。

インストラクターの後ろをしっかりと乗車姿勢を正して隊列を乱さずに走るの難しいようで、最初はふらついたり、力が入りすぎたりしていましたが、講習を終えるころには走行が安定してきました。

この講習を通じて安全意識を高めることと運転技術の習得に加えて、運転の楽しさを感じてもらい、将来は仕事の上でも役立てることができればよいと考えています。まずは体で感じる乗り物の良さを実感できたのではないのでしょうか?

◆編集後記

今年度から学校新聞はできるだけ、学生の皆さんや保護者の皆さんに楽しんでもらえるような内容にしていきたいと考えています。掲載して欲しい情報や写真があればぜひ、職員室の学生課までお持ちください。「学校新聞に載せて欲しい記事を持ってきました」と声をかけてください。

学生相談室 (ほっとルーム)

相談室カウンセラーの平田裕美先生より

「明日までに、レポートを書かなければ…、ここまで覚えなければ…、そのような時間がない時に、わざわざ、今見る必要もないインターネットを開いてみたり、本屋さんに行ってみたり、という経験はありませんか。この現象を「逃避」と言います。目の前に迫っていることについて、人は無意識のうちに、その現実から逃げて避けようとする心理を持っています。人だからこそ、見られる「こころ」が起こす、ごく当たり前の行動です。このような人の「こころ(心理)」を少し知ってみたい、また、対人関係など、どうしよう…と迷うときには、ひとりで考え込まずに気軽に相談室を利用してみてください。相談室利用については、基本的に予約が必要です。火曜日15時30分〜18時30分に相談室で申し込んでください。予約がない場合は、即時相談が可能です。しかし、当日の予約がいっぱいの際は次回以降の予約となります。」



応援グッズを手にレース観戦を楽しむ学生達

MOTOGP 観戦

毎年恒例の2輪レースの最高峰MOTOGP観戦が実施されました。例年は日本での開催は秋ですが、今年度は4月の開催となり1年生にとっても初めてのレース観戦がオートバイレースというところで、喜んでくれる人も多かったです。

ホンダの応援グッズを手にした約1500人の学生たちは、バス4台でも足りずと向かいました。高速道路も順調で到着はメインレースのかなり前でコレクシヨンホールやいろんなイベントブースで楽しんでいました。到着時には雨が激しく降るなど天候に不安を感じましたが、その後天気が急速に回復してレースが始まるころには絶好のコンディションになりました。メインのMOTOGPクラスでは、ヤマハとホンダが上位を争う展開でロッシとペドロサの熱いバトルに興奮しました。最後はロレンソが優勝、2位がロッシ(いずれもヤマハ)でホンダ勢ではペドロサが3位の表彰台にたちました。

相談室の主なものには就職試験はいつごろ? この分野・地域の求人がありますか? 企業の仕事内容はどんなものか? 会社説明会はいつ・どこであるのか? などです。
4月23日現在、来春卒業予定の就職希望者279名中114名が内定しており、内定率は40.9%です。

就職相談室には専任の先生が2名います。主にモノづくりや開発系を担当する清水先生(写真左)と四輪・二輪の販売店や整備技術系を担当する松野先生(写真右)が皆さんの就職活動へのアドバイスやサポートをします。



就職相談室担当より